

2022年7月8日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株式会社三菱UFJ銀行

## 保有株式の売却について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）は、今般、保有する香港の金融グループである Dah Sing Financial Holdings Limited（以下 大新 FH）の全株式の売却（以下 本株式売却）を決定し、その一部を売却しました。一部売却後、残りの保有する大新 FH 株式は 2022 年度中に市場で売却する予定です。

### 1. 株式一部売却の内容

売却普通株式数	31,637,935 株
売却日	2022年7月7日
売却後保有株数	319,575 株

### 2. 株式売却の理由

MUFG は、今中期経営計画の主要戦略の 1 つとして掲げる「構造改革」のうち、「事業ポートフォリオ見直し」の一環として、グローバルベースでの経営資源の最適化を進めており、MUFG グループ各社による戦略出資に関して、その戦略性や資本効率等の観点から見直しを行っております。

今回、全株式を売却することになった大新 FH は、香港の主要な金融グループであり、2000 年に当行の前身である三和銀行が出資して以来、20 年以上にわたって強固な関係を構築してまいりました。2019 年 1 月 23 日に公表いたしました大新 FH の株式一部売却<sup>[1]</sup>後も、MUFG および当行を取り巻く環境変化を踏まえ慎重な検討を重ねた結果、今般、全株式を売却する結論に至りました。本株式売却に伴い、資本・業務提携は終了いたしますが、大新 FH が当行にとって香港における重要なパートナーであるという位置付けは不変です。

当行は、1952 年に前身の東京銀行が香港に出張所を開設して以来、70 年にわたり香港で活動されるお客さまを支援してまいりました。引き続き、当地に根差した金融サービスを拡充し、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

### 3. 業績に与える影響

本株式売却が MUFG および当行の当期の業績に与える影響は軽微です。

<sup>[1]</sup> 2019 年 1 月 23 日付の「保有株式の売却について」は以下をご参照ください。

[https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2019/pdf/news-20190123-002\\_ja.pdf](https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2019/pdf/news-20190123-002_ja.pdf)

以 上